

ふる里清掃運動会

王貞治さんらが呼びかけ

千葉市でも浜辺の美化活動

「さあ、みんなで日本中をきれいにしよう」を合言葉にした第10回「ふるさと清掃運動会」が多くの市民や学生などが参加して今年3月から来年1月31日までの間、全国各地で展開されている。10月は集中月間としている。

王貞治（福岡ソフトバンクホークス会長）、奥島隆康（富士山クラブ理事長・高野連最高顧問）、アルビニスト



「いなげの浜」でゴミ拾いを行う京葉少年野球連盟の選手たち

野口健の3氏が呼びかけ人代表となり、ふるさこの山や川、海岸、町など身近なところからアクションを起こして次世代の子どもたちに美しい日本を残していこうというもので、平成19年から清掃活動を繰り広げ、これまでに行動を起こした市民、学生、企業の人たちは20万人を超えるという。

こうした清掃活動は総延長4320m、人工海浜としては日本一を誇るいなげの浜を擁する千葉市内でも行われている。千葉市建設業協会、千葉県建設協会千葉支部などの建設団体がクレーンを装備したユニーク車やタイヤショベルなどの機材を用いて砂浜に打ち上げられた流木などを除去する本格的な「いなげの浜清掃ボランティア活動」を展開。小学生野球の京葉少年野球連盟も6年前から年3回の

清掃運動会に参加。連盟主催大会の開会式後に選手たち数百人規模でいなげの浜でゴミ拾いを行い清掃美化活動が評価され、国交省関東地方整備局長表彰を受けた。

中央区千葉港ポートパークで海岸クリーンアップに取り組んでいるのは「かもめのクリーン隊」。年6回の海辺のゴミ拾いを行い、暮らしや観光問題などについて考えている。

次回のクリーンアップは9月30日10時から、千葉ポートパーク内のイタリアンレストラン前集合。ゴミを入れるレジ袋、ごみはさみ、手袋持参。小雨決行。問い合わせは090-15515-4618。